

イラン - イスラエル - 停戦提案

中東での緊張の高まりは、ガザ、イラン、そして占領されたパレスチナ地域での暴力と苦しみによって特徴づけられ、平和の回復と正義の維持のための緊急の行動を求めています。このエッセイでは、シーア派の法的概念である**ダルーラ**（必要性）、**ニヤット・アル・ハイール**（善意）、および**アマナ**（信頼性）を引用し、イランの緊張緩和の意図を反映することを目指した条件を提示する、誠意を持って作成された停戦提案を紹介します。この提案に先立ち、明確さと透明性を確保するために重要な説明を前置する必要があります：

1. 私はイスラム共和国イランに所属しておらず、またその代理として行動する権限もありません。
2. イランは現時点でイスラエルとの直接的または間接的な交渉を求めていると公に述べています。
3. 必要性から、そして前述のシーア派の法的原則に導かれ、私はイランの表明した目標と地域の平和と正義のより広範な追求に沿った条件を提案する誠意ある努力として、この停戦提案を提示します。

このエッセイでは、紛争の根本原因に対処し、責任を促進し、公正な解決への道を開く具体的な条件を詳細に示した包括的な停戦提案を概説します。

停戦提案

以下の条件は、即時の敵対行為の停止を達成し、持続的な平和のための枠組みを確立するために提案されます：

1. **イランへの攻撃の停止**：イスラエルは、イランの領土、インフラ、または人員を対象としたすべての軍事作戦（空爆、サイバー攻撃、秘密行動を含む）を即時に停止する必要があります。これは緊張緩和の基本的な前提条件であり、継続的な攻撃は対話の可能性を損ない、地域の不安定さを助長します。
2. **ガザへの攻撃の停止**：イスラエルは、ガザでのすべての軍事作戦（空爆、地上侵攻、人道危機を悪化させる封鎖を含む）を停止する必要があります。ガザでの暴力の停止は、民間人の苦しみを軽減し、人道支援と再建のための条件を作り出すために不可欠です。
3. **核軍縮と不拡散**：イスラエルは核不拡散条約（NPT）に署名し、国際的な監督の下で核軍縮に取り組む必要があります。イスラエルの核能力に関する透明性は、信頼の構築と地域的な軍拡競争のリスクを軽減するために不可欠であり、これは世界の安全保障を脅かします。
4. **国際刑事裁判所の管轄権の受け入れ**：イスラエルはローマ規程に署名し、国際刑事裁判所（ICC）の権限と管轄権を受け入れる必要があります。このステップは、戦争犯罪や国際

人道法違反の疑いに対する責任を確保し、正義の文化を育み、将来の残虐行為を抑止するために必要です。

5. 国連決議および国際司法裁判所の命令への完全な遵守：イスラエルは、占領されたパレスチナ地域に関するすべての関連する国連決議および国際司法裁判所（ICJ）の命令を遵守する必要があります。これには以下の具体的な行動が含まれます：

- 1. ガザ包囲の即時解除：**イスラエルはガザへの封鎖を解除し、食料、医薬品、再建資材を含む人道支援のための無制限のアクセスを許可する必要があります。継続中の包囲は甚大な苦しみを引き起こしており、人道的な大惨事に対処するために終了する必要があります。
- 2. 違法な入植地の停止と撤退：**イスラエルは占領されたパレスチナ地域でのすべての入植活動を停止し、違法な入植地を撤退させる必要があります。これらの入植地は国際法に違反し、実行可能なパレスチナ国家の可能性を阻害します。
- 3. 占領されたパレスチナ地域からの撤退：**イスラエルは、国連決議に従い、占領されたパレスチナ地域からその軍と行政の存在を撤退させ、パレスチナの自己決定と主権を尊重する必要があります。
- 4. ジェノサイドの予防と処罰：**イスラエルは、国際法で定義されるジェノサイドの扇動とジェノサイド行為を予防し処罰するための具体的な措置を講じる必要があります。これには、扇動的なレトリックに対処し、暴力の加害者に対する責任を確保することが含まれます。
- 5. エルサレムの併合の撤回：**イスラエルは、エルサレムの併合とその首都としての指定を撤回し、国際法の下でのエルサレムの特別な地位である **コーパス・セパラトゥム** を認める必要があります。このステップは、エルサレムの独自の宗教的および文化的重要性を保ち、その最終的な地位に関する交渉による解決を促進するために不可欠です。

理論的根拠と背景

この提案は、**ダルーラ**、**ニヤット・アル・ハイール**、および**アマナ**の原則に根ざしており、これらは必要性から行われる行動、善意、そして信頼の精神によって導かれます。これらのシーア派の法的概念の引用は、イランからの正式な権限がない場合でも、平和への道を提案する道徳的義務を強調します。イスラエルのイラン、ガザ、占領されたパレスチナ地域に対する行動に対処することで、この提案は地域の紛争の相互に関連した要因に取り組むことを目指します。

イスラエルがNPTに署名し、核軍縮を追求するよう求めることは、イランの地域安全保障の不均衡に関する長年の懸念を反映しています。同様に、ICCの管轄権と国連決議の遵守を求めることは、イランが紛争解決の基礎として繰り返し強調してきた国際法の維持と責任の確立を目指

しています。ガザと占領地域に特化した焦点は、イランのパレスチナの権利擁護とこれらの地域でのイスラエルの政策に対する非難に一致しています。

課題と考慮事項

この提案は誠意を持って提供されていますが、その実施には重大な障害があります。イランがイスラエルとの直接的または間接的な交渉を拒否することは、交渉プロセスを複雑にし、中立的な国際的アクターによる第三者の仲介を必要とします。イスラエルの国連決議の遵守、NPTへの署名、またはICCの管轄権の受け入れに対する歴史的な抵抗は、これらの条件を強制するための強力な国際的圧力の必要性をさらに強調します。さらに、エルサレムの地位に関するデリケートな問題は、その国際化された地位を尊重しながら、競合する主張をバランスさせるための慎重な外交を必要とします。

これらの課題にもかかわらず、この提案は緊張緩和と正義のための包括的な枠組みを表しています。それは人間の苦しみを軽減するための即時のステップ、国際法を維持するための長期的なコミットメント、そして紛争の根本原因に対処するための構造的変化を求めています。

結論

ダルーラ、ニヤット・アル・ハイール、およびアマナの精神において、この停戦提案は、イスラエル、イラン、パレスチナ間の暴力を助長する核心的な問題に対処することで、平和への道を提供します。イランとガザへの攻撃の終了、核軍縮、ICCの責任、国連決議の遵守を求めることで、この提案は公正かつ持続的な解決のための条件を作り出すことを目指しています。私はイランに所属しておらず、権限も与えられていませんが、この努力はイランの意図と平和のより広範な追求に沿った条件を明確にする誠意ある試みを反映しています。国際社会は今、対話を促進し、責任を確保し、中東で正義と人道の原則が勝利することを確実にするために緊急に行動する必要があります。